

平成31年度 徳島大学病院 プログラム説明会 (初期研修・専門医研修)

2018年6月23日(土)大塚講堂にて医学生・初期研修医を対象にプログラム説明会を行いました。第一部では、まず全国の様々な協力病院にて研修を行った当院の2年次研修医である竹内峻亮先生(徳島県立三好病院・四国こどもとおとなの医療センター)・多田紗彩先生(藍里病院・枚方公済病院)・辻本賀美先生(阿南共栄病院・東洋病院・徳島県立中央病院)・豊田直人先生(藍里病院・日本医科大学付属病院・釧路孝仁会記念病院)・養手孝宗先生(徳島県立海部病院・愛媛県立中央病院)・宮本綾香先生(徳島赤十字病院・徳島県立三好病院)・山下貴央先生(徳島市民病院・水の都記念病院・高知赤十字病院)の7名に加え、当院における平成23年度の研修プログラムを修了し、現在はハーバード大学医学部ブリガムアンドウィメンズ病院神経内科にて勤務されている矢野祖先生にもお越しいただき、全員でパネルディスカッションを行いながら、研修の進め方や研修生活上の苦労など、研修を進めていく上でためになる話をさせていただきました。

第二部では、徳島大学病院・協力病院による合同説明会をブース形式で行いました。徳島大学からだけでなく他大学や他病院からも学生さんや初期研修医に合わせて100名もお越しいただき盛大な会となりました。マッチングを間近に控えた5・6年生だけでなく、まだ臨床医学の勉強中である3年生や4年生にも参加いただき、初期研修や新専門医制度に対する関心の高さが伺われました。また当院での専門医研修を希望される他病院からの初期研修医の方もおり、様々なニーズに応えられたのではないかと思います。来場された皆様全員と来年の春から徳島大学病院で共に働けるようになると大変嬉しいです。そのためにも、学生さんや初期研修医の皆様によりよい研修プログラムや研修環境を提供できるよう今後も努力して参ります。



研修プログラム説明会
(大塚講堂)
左上/[第一部]研修医による
体験談プレゼンテーション
右上・左下/[第二部]合同説明会
(ブース開設)
右下/懇親会(蔵本会館)

学生・研修医のためのキャリアデザインセミナー

キャリア形成支援センターとの共催で、厚仁会のご支援の下、2018年9月19日(水)に日垂メディカルホールにて、学生・研修医のためのキャリアデザインセミナーを開催致しました。今年も素晴らしい3名の先生方に、医師としてのキャリア形成に関して講演をいただきました。講演終了後は引き続きレストランSoraにて懇親会を行いました。学生さんや初期研修医が、講師の先生方を囲んで熱心に質問をしていました。医師としてのキャリアを形成する上での参考になればと思います。ご講演をお引き受けいただきました3名の先生方にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

- 国立病院機構 徳島病院 院長 西野 洋先生
「We Are The Medicine」
- 徳島大学病院 呼吸器・膠原病内科 准教授 後東久嗣先生
「他人まかせなキャリアデザインのススメ」
- 徳島大学病院 呼吸器外科 高嶋美佳先生
「多くの出会いの中で、外科医として」



講師 徳島病院院長 西野 洋先生



Soraでの懇親会

平成31年度の徳島大学病院の卒後臨床研修が、いよいよ新人研修医を迎え始めます。徳島大学病院の卒後初期研修の特色は、各研修医の希望をきめ細やかに聞きながら、柔軟な研修プログラムを県内外の協力病院と連携しながら行う点です。しかし研修プログラム以上に大事なのは各人の志と自主性、積極性です。現代の医療は、医師中心から患者中心のチーム医療に変化してきました。医師は患者さんやその家族の立場で考え、倫理観や哲学を持ち、医療スタッフと積極的に協力するチーム医療を実践することが重要です。また人生100年時代を迎え、超高齢の方にも手術や積極的な治療を行うようになりました。医師自身も、80歳以上で働く人が珍しくなくなりました。医師の働き方改革も進められています。将来の医師のあるべき姿を描きつつ、毎日楽しく充実した研修医生活を送りましょう。どうか初心を忘れず、いろいろな経験を積んで大きく成長して下さい。



病院長 永廣 信治

研修医教育講座&スキルアップセミナー

研修医への教育の一環として、各診療科の先生方にご協力いただき、手技的なことに関しては、年10回の研修医教育講座で、知識的なことに関しては、年10回のスキルアップセミナーで教育を行っております。何れの回も当院の研修医だけでなく、学生・院内他科医師・他院からの初期研修医や先生方を含め、20~90名の参加者があり、熱気のある会となっております。昨年度に引き続き、本年度も内2回を徳島県立中央病院と合同のメディカルゾーンセミナーとして開催しております。ご協力いただいております各診療科の先生方にこの場をお借りして御礼申し上げますと共、来年度以降に関しましては、卒後臨床研修センターのホームページをご参照ください。



CVC講習会



上部消化管内視鏡実習



包帯・ギプス・シーネ実習



腹部エコー実習

平成30年度 第1回 メディカルゾーンセミナー (テーマ：認知症)

2018年9月5日(水)に日垂メディカルホールにて徳島県立中央病院と合同でメディカルゾーンセミナーを開催致しました。今回は徳島大学病院からは神経内科の和泉唯信先生に、徳島県立中央病院からは徳島県認知症疾患医療センター長の森隆史先生にお越しいただき、「認知症」をテーマにご講演をいただきました。研修医25名、学生さん6名に加え、医師19名、看護師25名、栄養士6名、精神保健福祉士3名、臨床検査技師1名、薬剤師1名など総勢95名の多数の職種の方々にご参加いただきました。

総合メディカルゾーン構想の一環として、2019年には徳島大学病院と徳島県立中央病の構内がつながり駐車場も共用化となる予定で、両院のつながりは設備面においても一層の充実を見せています。

本セミナーの開催が両院の相互理解をさらに深め、手を取り合って徳島県の医療の向上を目指す上の一助となればと思います。



講師 和泉 唯信 先生

平成30年度 第1回メディカルゾーンセミナー
(第5回徳島大学病院スキルアップセミナー)
日時: 2018年9月5日(水) 18:00~19:00
場所: 徳島大学病院日垂メディカルホール(西病棟11階)

講演

1 「認知症の原因とその対応」
徳島大学病院 神経内科 特任講師 和泉 唯信 先生

2 「徳島県認知症疾患医療センターの意義」
徳島県認知症疾患医療センター長 大森 隆史 先生



講師 大森 隆史 先生

研修医紹介 現在、徳島大学病院で研修中の研修医

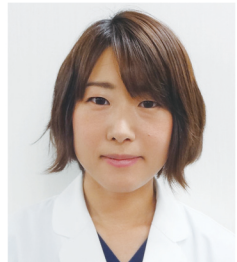
1年次研修医

卜部 海人 島本 枝里伽 浅井 孝仁
大池 由夏 松田 宙也 中村 昌史
金子 遥祐 森 あずさ
國重 道大 森 文香

2年次研修医

安宅 克博 多田 紗彩 矢野 哲弘
川田 知代 谷 彰浩 土山 洋介
清水 郁子 養手 孝宗 壹岐 豊
高橋 未奈 宮本 綾香
高松 信敏 安井 沙耶

前回のニュースレター発行後に徳島大学病院に戻ってきた研修医です。



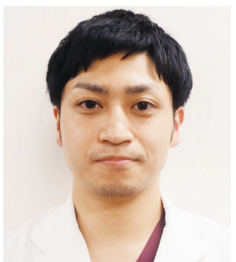
いわわき あやか
岩脇 文香 (2年次)
先生方に熱心に指導いただき、あっという間に2年目になりました。日々の経験を大切に一生懸命頑張ります。



おおし はじめ
大西 一 (2年次)
長いと思っていた研修期間も、気付けば残りわずかとなりました。気を緩めず、精一杯頑張っていきたいです。



きた ゆかり
喜田 有佳里 (2年次)
6ヶ月ぶりにこの病院に帰ってくるのができ、嬉しい気持ちでいっぱいです。どうぞよろしくお願い致します。



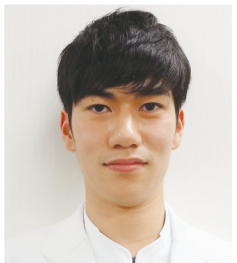
しむら たくや
志村 拓哉 (2年次)
研修期間も残り少なくなってきましたが、変わらず日々精進していきますのでよろしくお願い致します。



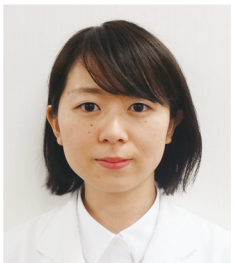
すみだ さとし
住田 智志 (2年次)
1年ぶりに徳島大学病院戻ってまいりました。これまでに学んできたものを糧に、患者様に貢献できればと思います。



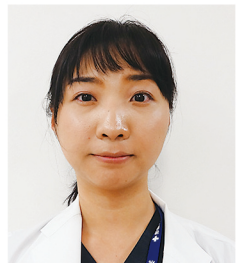
つじもと よしみ
辻本 賀美 (2年次)
1年間の院外研修を経て戻って参りました。残りの研修期間の一日一日を大切に、励んで参りたいと思います。



ひらおか じゅんいちろう
平岡 淳一郎 (2年次)
初期研修も残すところあと半年となりました。残りの期間も最後まで頑張ります。よろしくお願い致します。



もりき かな
森木 冠奈 (2年次)
初期研修も残りわずかとなりましたが、気を引き締めて頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。



くろさわ
黒澤 すみれ (1年次)
一年目研修医の黒澤すみれです。4月～10月は枚方公済病院で研修してきました。どうぞよろしくお願い致します。



こんどう ひろひさ
近藤 広宗 (1年次)
周りの人への感謝を忘れることなく一歩ずつ成長したいと思っています。ご指導の程よろしくお願い致します。

徳島医学会学術集会

2018年8月5日(日)に徳島県医師会館にて第257回 徳島医学会学術集会が開催されました。各診療科の指導医の先生方に熱心にご指導いただき、2年次研修医3名、1年次研修医3名の計6名の研修医が発表を行いました。2年次研修医高橋未奈先生・1年次研修医宮上侑子先生が若手奨励賞を受賞致しました。ご指導いただきました各診療科の先生方には厚く御礼申し上げます。



若手奨励賞 2年次研修医 高橋 未奈 先生(循環器内科) / 左
「大動脈弁人工弁(機械弁)置換術後遠隔期に生じたOMI-VT stormに対し経心房中隔的に施行したカテーテルアブレーションが著効した1例」
若手奨励賞 1年次研修医 宮上 侑子 先生(血液内科) / 右
「不明熱と著明な高CRP血症を呈したCD20陰性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の1例」

医員募集

平成31年度の医員募集情報

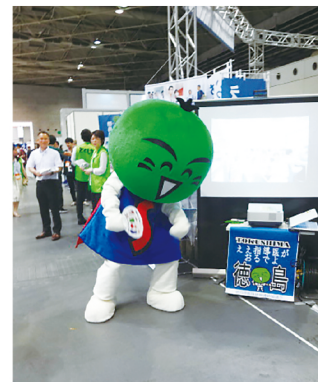
徳島大学病院では、下記の要領で、平成31年度の医員(卒後3年目以降の専門医研修者を含む)を募集します。

平成31年度の医員募集の概要

条件	医師免許取得後2年以上臨床研修を行った者または、平成31年3月までに卒後臨床研修を修了(予定)している者。
募集人数	170名(ただし、専門医研修希望者はすべて受け入れます)。
処遇	国立大学法人徳島大学有期雇用職員就業規則による。
募集のための書類	希望する診療科または、総務部人事課蔵本人事係にお問い合わせください。総務部人事課蔵本人事係 Tel.088-633-7018 Fax.088-633-7474
募集の締め切り	平成31年1月11日(金)
問い合わせ先	採用希望される場合は、随時、各診療科または、病院キャリア形成支援センター(総務課専門研修係)までお問い合わせください。 病院キャリア形成支援センター(総務課専門研修係) Tel.088-633-9976 Fax.088-633-9543 E-mail: bcareer@tokushima-u.ac.jp http://www.careercenter-dr.jp/index.html

レジナビフェア

2018年7月1日(日)に大阪にて、7月15日(日)に東京にてレジナビフェアが開催され、徳島大学病院も徳島県臨床研修協議会の一員として県内の様々な研修病院の指導医の先生方や初期研修医と共に参加致しました。徳島県出身の医学生の方を中心に多くの学生さんに来場いただき本当にありがとうございました。実際にプログラムに関して説明させていただくと、初耳であると驚かれることが多く、直に研修プログラムの説明をする場をもつことの重要性を感じました。



徳島県のマスコット「すだちくん」



レジナビ東京(東京ビッグサイト)



レジナビ大阪(インテックス大阪)

徳島大学病院 研修医奮闘記

羽ばたきの日

2年次研修医 住田 智志 先生

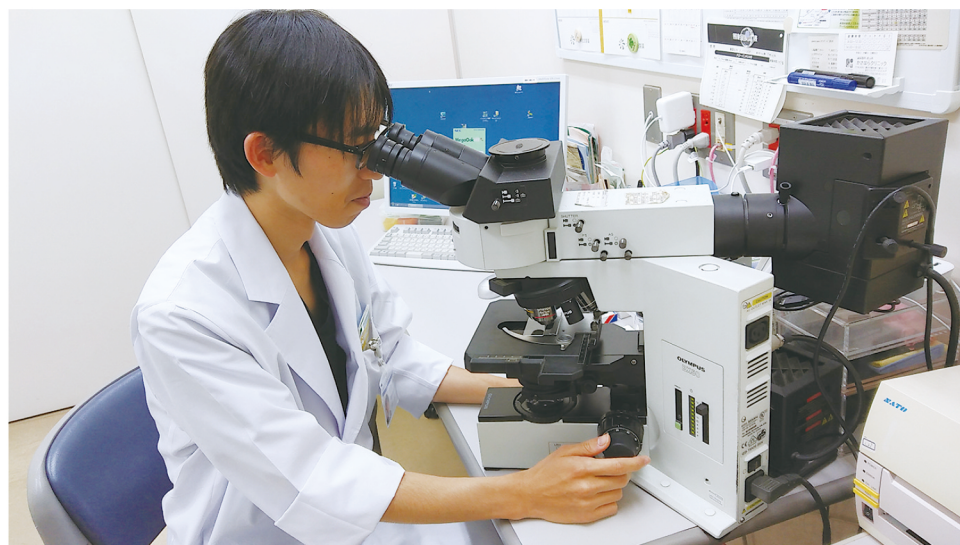
(AWAすだちプログラム:徳島大学病院・田岡病院・徳島県立海部病院・国立高知病院にて研修)

2年目の冬も間近、研修医生活も終盤に差し掛かってきました。この機会に、2年を振り返りたいと思います。

私は学生の頃より病理医志望で、それを主眼においた研修プログラムを自由に組み立ててきました。初期研修1年目は徳島大学病院、慣れ親しんだ母校の病院で開始しました。処方、手技、何をとっても覚束なく、上級医の先生の後ろを不安な顔でちょこちょこついていく私は「医者卵」ならぬ「医者の雛鳥」のようであったと思います。そんな私に対し、先生方には優しく熱く、時には厳しく指導くださいました。病棟や各部署のスタッフの方々にも大変お世話になりました。失敗と成功を繰り返しながら、日々貴重な経験を積むことができました。

こうして、雛鳥から小鳥程度にはなったであろう1年目の冬、私は徳島大学病院を飛び出し市中病院での研修を開始しました。田岡病院救急科および県立海部病院での地域医療研修では、最前面に立つ場面を多く経験し、また災害医療や地域との連携などにも触れ、たくさん刺激を受けました。2年目からは徳島を離れ、国立高知病院で研修させていただきました。初めての県外でしたが、先生方やスタッフの方々には手を差し伸べていただき、すぐに慣れることができました。さまざまな科で勉強しながら、市中病院の疾患構造、豊富な手技を刻み込むことができました。

今冬よりまた徳島大学病院に戻ります。小鳥からまた少しは成長したでしょうか。これまで育ててくださった皆様方には厚く御礼申し上げます。春には後期研修医としての旅立ちの日を迎えます。すだちの爽やかな残り香とともに、大きくなった翼で羽ばたいていきたいと思っています。



病理専門医をめざす筆者

■ニュースレターに関する御意見・ご要望など、お気軽にお寄せください。
bsotsugo@tokushima-u.ac.jp

ホームページ

卒後臨床研修センターでは、適宜ホームページをリニューアルしております。新しい研修プログラムの情報や研修医のブログなど様々な情報を配信しております。当院での研修に御興味のある方は、卒後臨床研修センターホームページ
(http://www.tokudai-sotsugo.jp) にアクセス頂けますと幸いです。



徳島大学病院卒後臨床研修センター
Tel: 088-633-9359
Fax: 088-633-9358
E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp
URL: http://www.tokudai-sotsugo.jp

徳島大学病院 診療科案内

お問い合わせは
【初期研修】卒後臨床研修センター
E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp
【専門医研修】キャリア形成支援センター
E-mail: bcareer@tokushima-u.ac.jp

循環器内科

(科長 佐田 政隆)

循環器内科は、虚血性心疾患や不整脈に対するカテーテル治療や画像検査、心臓リハビリなどの専門・高度医療にわたる幅広い領域をカバーしています。循環器救急24時間体制を構築しており、徳島県内の各種医療機関との病診連携も積極的に進めています。初期ならびに専門医研修については、四国はもとより東京、大阪、神戸、沖縄、静岡、愛知、熊本などの県外医療機関と連携して、各自の将来設計に柔軟に対応できるプログラムを提供しています。



連絡先 佐田 政隆 masataka.sata@tokushima-u.ac.jp
山口 浩司 yamakoji3@tokushima-u.ac.jp
(卒後研修主任) tel.088-633-7852 fax.088-633-7894
http://square.umin.ac.jp/TOKUSHIM/

腎臓内科

(科長 長井 幸二郎)

腎臓内科では、県下一円から難治性の腎疾患患者を受け入れています。腎臓内科の診療活動は、ネフローゼ症候群・腎炎などの腎疾患の診断治療と慢性腎不全の透析導入、透析室管理の3つの柱からなっています。糖尿病、高血圧、膠原病など全身性疾患からの腎障害も多く、広く内科全般に渡る症例を経験するとともに、術前術後を含めた透析管理を研修していただきます。当科での取得可能専門医:総合内科専門医・腎臓専門医・透析専門医。



連絡先 長井 幸二郎 knaga@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7184 fax.088-633-9245
http://www.tokudai-kidney.jp/

神経内科

(科長 和泉 唯信)

神経内科はcommon disease(頭痛、しびれ、脳卒中、認知症など)から難病(筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン症候群など)まで幅広い疾患を対象にします。現在は多くの疾患が正確に速く診断できるようになり治療法も長足の進歩を示しています。徳島大学病院においては都市部の病院に比べてこれらの疾患群を偏りなく診療することができ、専門医の高合格率にも定評があります。また海外・国内への留学実績も豊富です。



連絡先 瓦井 俊孝 tkawarai@tokushima-u.ac.jp
藤田 浩司 kfujita@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7207 fax.088-633-7208
http://www.neuro-tokushima.com

食道・乳腺甲状腺外科

(科長 丹黒 章)

確かな技術を備えた外科医を育てることをモットーとしています。「確かな技術」とは、手術のテクニックのみならず、正確な診断、適切な周術期治療と術前準備、確実に治すための手術選択、心のこもった周術期の全身管理、初期治療から緩和治療まで、あらゆる治療に精通することを意味しています。全ては患者さんのためであり、その技術習得に必要な環境が私たちの教室には揃っています。「目の前の患者さんを自分の技術で治したい」、そんな熱く、優しいハートを持った医師を歓迎します!



連絡先 吉田 卓弘 tyoshida1@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7143 fax.088-633-7144
http://www.tksbizan.com/

消化器・移植外科

(科長 島田 光生)

当科には全国に通用する一流外科医の育成環境が整っています。肝胆膵外科領域では高難度手術・生体肝移植を行っており、徳島唯一の高度技能修練施設A指定を受け、高度技能専門医は4名で全国トップクラスです。消化管領域では5名の内視鏡外科技術認定医が胃癌・大腸癌手術の執刀・指導を行い、ロボット手術、肥満に対する減量手術も積極的に進めています。若手の執刀も多く、最速での各専門医取得が可能です。



連絡先 東島 潤 higashijima.jun@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7139 fax.088-631-9698
http://www.tokugeka.com/

呼吸器・膠原病内科

(科長 西岡 安彦)

肺癌、間質性肺炎、呼吸器感染症、気管支喘息、膠原病を中心に、指導医・専門医のもとチーム医療を推進しています。臨床腫瘍学、感染症学、アレルギー学、免疫学等の幅広い分野の臨床経験が積めることは当科の特徴です。肺癌の治験・臨床試験に積極的に参加し、膠原病や間質性肺炎でも県内で中心的役割を果たしています。国内外の医学による研修等を通じ常に総合力アップを意識し、全国レベル・国際レベルの医療人育成を目指しています。

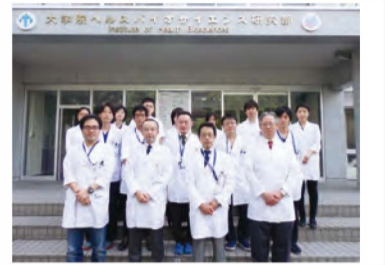


連絡先 豊田 優子 yktoy@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7127 fax.088-633-2134
https://plaza.umin.ac.jp/sannai/

内分泌・代謝内科

(科長 遠藤 逸朗)

内分泌腺が産生するホルモンは多彩な臓器の機能調節に関わり、その調節異常による代謝異常症には糖尿病、脂質異常症、痛風、骨粗鬆症など頻度の高い生活習慣病が多く含まれます。したがって、内分泌・代謝疾患では、全身のホルモン標的臓器の統合的な診断・治療が必要です。当科では、内分泌・代謝疾患患者の診療を通じて、臨床医として必要とされる幅広い病態の理解と的確な診断能力、そして適切な治療方針の立案能力を身につけた医師を育成しています。



連絡先 遠藤 逸朗 endoits@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7120 fax.088-633-7121
http://square.umin.ac.jp/TUBioReg/index.html
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=4

総合診療部

(部長 谷 憲治)

近年、高齢化や生活習慣の変化に伴って慢性疾患の増加や疾病の多様化が目まぐるしくなっています。総合診療部では、患者さんの年齢・性別や臓器、疾患の種類を限定せず、症状や検査データに加えて、患者さんの社会的背景、心のケアを含めた総合的視点で、包括的・全人的医療に取り組んでいます。また、2018年度に開始された新専門医制度における「総合診療専門医」の専門研修基幹施設として、徳島県内の様々な医療機関と連携して、未来の総合診療医の育成にも力を入れています。



連絡先 大倉 佳宏 ookura.yoshi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9656 fax.088-633-9687
http://www.tiki.umin.jp/

血液内科

(科長 安倍 正博)

血液内科では、造血障害、造血器腫瘍や免疫不全を中心とした疾患に対し、造血幹細胞移植術などの新しい診断技術や治療法を取り入れ幅広く診療を展開しております。このような治療の遂行においては、多職種医療従事者とのチームによる全人的かつ専門的診療が重要です。当科では一般内科を基盤としたきめ細かな患者の全身管理ができるバランスのとれた医師の育成を目指しています。



連絡先 安倍 正博 masabe@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7120 fax.088-633-7121
http://square.umin.ac.jp/TUBioReg/index.html

心臓血管外科

(科長 北川 哲也)

心臓血管外科医は、「自分の知と腕」をもって、病む患者さんの生きようとする力を支えてあげることのできる、やりがいのある仕事です。暖かい心と勇気を持ち、夢と情熱のある方は、当科で専門医研修をしませんか。君たちの想いに応えます。現代の社会環境でこそチャンスです。
"Chance favors only the prepared mind!" 次代を担うのはあなたです。



連絡先 北川 哲也 kitaichi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7581 fax.088-633-7408
http://www.toku-cvs.umin.jp/

泌尿器科

(科長 金山 博臣)

徳島大学泌尿器科専門研修プログラムでは、新専門医制度に対応した診療拠点病院、教育関連施設で研修を行うため症例も多く、充実した研修が行えます。関連病院には、透析認定施設も多く、透析専門医の習得も可能です。早い段階から開腹手術や腹腔鏡手術の執刀を行い、泌尿器腹腔鏡技術認定医・腎移植認定医等の subspecialty領域の認定医習得ができます。また、泌尿器科では、ロボット支援手術を積極的に進めており、大学を含めた7施設で導入しています。希望により大学院進学、国内・海外留学も可能です。泌尿器科に興味を持つ熱意ある先生の入局を待っています。



連絡先 金山 博臣 kanayama.hiroomi@tokushima-u.ac.jp
高橋 正幸 takahashi.masayuki@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7159 fax.088-633-7160
https://tokushima-u-urology.jp/

呼吸器外科

(科長 滝沢 宏光)

肺癌、縦隔腫瘍、胸壁腫瘍など腫瘍性疾患を中心として、漏斗胸、膿胸、気胸など呼吸器外科疾患全般に関して診療を行っています。肺癌手術はほぼ全例完全胸腔鏡下手術で行い、最近ではロボット支援手術も導入しています。気管支鏡検査、気管支鏡インターベンションにも力を入れており、早期肺門部肺癌に対する光線力学療法や気道狭窄に対するステント、レーザー治療も行っています。呼吸器外科を志す人にとって充実した環境を提供できると考えます。興味のある方は是非ご連絡ください。



連絡先 鳥羽 博明 surgery2@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7143 fax.088-633-7144
http://www.tksbizan.com/

小児外科・小児内視鏡外科

(科長 石橋 広樹)

①小児外科の広範な疾患に対する治療: 四国の小児外科の中心的施設として、胸部、腹部をはじめ小児悪性腫瘍および、泌尿器科領域まで広範な疾患をカバーしています。
②小児外科領域での鏡視下手術: 小児胆管ヘルニアに対するLPEC法その他、ヒルシュスプリング病、鎖肛、GERDなどに対しても積極的に鏡視下手術を施行しており、中国・四国地方では、唯一の日本内視鏡外科学会技術認定医(小児外科)が在籍しています。



連絡先 石橋 広樹 hiroki@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9276 fax.088-631-9698
http://www.tokugeka.com/

眼科

(科長 三田村 佳典)

人間は外界からの情報の80%を視覚から得ており、高齢化社会を迎え眼科の重要性は増すばかりです。当教室では網膜硝子体、緑内障、角膜炎、斜視弱視、ぶどう膜炎、眼瞼眼窩といった広範囲の専門分野を研修することができます。また、独自の小切開硝子体手術器具を考案し質の高い網膜硝子体手術を行っております。ぜひ、我々とともに活気あふれる教室を作ってください。



連絡先 江川 麻理子 egawa.m@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7163 fax.088-631-4848
http://www.tokushima-ganka.jp

皮膚科

(科長 久保 宜明)

皮膚科は現在、16人で毎日平均70人の外来患者、12人の入院患者を診ながら、教育、研究を行っています。過去10年間の新入医員は年平均2人です。後期研修の目標は、①実学としての皮膚科学の習熟、②皮膚科専門医取得、③研究です。全て卒業後が勝負で、体力、気力、好奇心をもち、皮疹を通してさまざまな病態を柔軟に考え加療して下さい。また研究にも興味を示してほしいと思います。いずれにせよ、皮膚科を選んだことを後悔することはありません。



連絡先 久保 宜明 kubo@tokushima-u.ac.jp
松立 吉弘(総務医長) y.matsudate@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7154 fax.088-632-0434
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=17

麻酔科

(科長 田中 克哉)

初期研修プログラムではどの科に進んでも必要な呼吸循環管理ができることを目標としています。麻酔科では、適切な麻酔をかけるだけでなく、手術や麻酔薬の影響と変化する全身の病態を早期に評価し、制御しています。気道確保など生命に直結する手技の習得と全身管理の面白さを体験できます。後期研修プログラムでは関連病院も含めてローテーションすることであらゆる症例や状態に対応できる麻酔科医を養成しています。

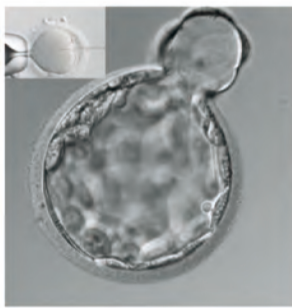


連絡先 田中 克哉 katsuya.tanaka@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7181 fax.088-633-7182
http://tokudaimasui.jp/

産科婦人科

(科長 苛原 稔)

現在医局員は、苛原稔教授をはじめとして24名。診療面では生殖、腫瘍、産科、女性医学の4診療部門があり、どの部門も全国でトップレベルの成績です。分娩数は年間673件、手術件数は570件(平成29年度)。研究面では5つの研究班に分かれて、基礎的および臨床的研究を行っています。4部門すべてが揃う強みを活かして、学生、初期・後期研修医の指導を行っています。産科婦人科に興味のある人は是非連絡下さい。



連絡先 苛原 稔 irahara@tokushima-u.ac.jp
加地 剛 tkaji@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7177 fax.088-631-2630
http://www.tokudai-sanfujinka.jp/Total/index.html

救急集中治療部

(部長 大藤 純)

重症患者は様々な臓器に問題を抱えており、治療には呼吸や循環、感染症、栄養、腎・血液浄化などに関する幅広い知識・技術と、病態を総合的に評価する力が必要です。救急集中治療部では、呼吸不全、循環不全、重症感染症や小児開心術後など、様々な患者の診療を通してそれらの知識や技術、判断力を身につけることができます。全身管理・重症患者管理に興味がある人は一緒に働きましょう。他科志望の人の研修も歓迎します。



連絡先 大藤 純 joto@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9347 fax.088-633-9339
http://sv01.inter-bus.jp/~toku_icu/

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

(科長 武田 憲昭)

現代の耳鼻咽喉科・頭頸部外科は、頭頸部の感覚運動医学、機能再建外科、頭頸部腫瘍外科を担当する科です。徳島大学耳鼻咽喉科では、耳鼻咽喉科の全ての担当範囲において国際トップレベルの医療と研究を行い、明るく楽しく積極的に、個性を尊重して個性を伸ばし、世界一の耳鼻咽喉科をめざしています。徳大耳鼻科で頭頸部のスペシャリストをめざしませんか？



連絡先 北村 嘉章 ykitamura@tokushima-u.ac.jp
(総務医長) tel.088-633-7169 fax.088-633-7170
http://www.toku-oto.umin.jp

形成外科・美容外科

(科長 橋本 一郎)

当科は、新専門医制度の基幹病院です。専門研修プログラムでは、連携施設が徳島県に4施設(県立中央病院、徳島赤十字病院、鳴門病院、田岡病院)、香川県に2施設(高松市立みんなの病院(高松市民病院)、四国こどもとおとなの医療センター)、愛媛県に2施設(松山赤十字病院、HITO病院)、高知県に2施設(高知赤十字病院、高知医療センター)と四国4県の中核病院や救急患者を多く取り扱う病院にあります。さらに北海道旭川赤十字病院も連携施設としてあります。総症例数は9000例を超えており、全国の形成外科専門研修プログラムの中でも、施設数と症例数において大規模なプログラムの1つです。専門医取得に必要な症例を十分に経験できます。



連絡先 石田 創士 keisei@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7296 fax.088-633-7297
http://plaza.umin.ac.jp/tokudakeisei/academic_greeting.html

精神科神経科／心身症科

(科長 大森 哲郎)

今、精神科医が求められています。精神科の敷居が低くなり受診者が増え続ける現状に加え、教育や行政からのニーズも激増しております。精神科は非常に守備範囲の広い診療科です。自分のライフスタイルや興味に合わせて方向性を選択することができます。大学病院はもちろんのこと、その他の研修施設にも信頼できる指導医を要し、指導体制を充実させています。精神科医になるなら、ぜひ徳大精神科での研修を！



連絡先 中瀧 理仁 ntk@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7130 fax.088-633-7131
http://tokushima-psychiatry.jp/

放射線診断科

(科長 原田 雅史)

放射線診断科では画像診断(CT、MRI、核医学、超音波、消化管透視)、IVR(血管内治療、CTガイド下生検など)を行っています。現代の医療において画像診断は必要不可欠です。全国トップクラスの検査装置、画像診断システムに恵まれた環境のもと、最先端の医療に携わってみませんか。研究においても各々の分野で多くの臨床研究を行っています。また、家庭を持った女性医師でも働きやすい環境作りを努めており、そのような女性医師の入局も歓迎です。



連絡先 原田 雅史 masafumi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7173(内線 9283) fax. 088-633-7468
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=25

リハビリテーション部

(部長 加藤 真介)

リハビリテーション科は基盤診療科の中で充足率が最も低い一方、高齢化等によりますます必要な診療科です。専攻医研修は徳島大学病院を基幹とし、リハビリテーション専門の徳島病院、回復期リハビリテーション病棟や関連施設を持つ一般病院から構成され、総合的に研修できるプログラムで、29年度から二名が研修しています。リハビリテーション医学は患者の生活に直結し、ロボットリハビリテーションなど新たな世界が広がっています。私たちと一緒に新たな地平線を拓きましょう。



連絡先 加藤 真介 skatoh@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9313 fax.088-633-7204

整形外科

(科長 西良 浩一)

整形外科は骨・筋肉・関節・神経・靭帯など運動器を幅広く扱う診療科です。ひとたび運動器が障害されれば、人間らしい生活活動は満足に行うことができません。すなわち、運動器は人間が人間たる所以を発揮するのに、最も重要な器官ともいえます。整形外科は老若男女、全身(上肢・下肢・体幹)をカバーするため守備範囲が広く、一人前になるのに少々時間はかかりますが、誰でも努力すれば一流になれるところが魅力です。徳島から世界にはばたく整形外科になりませんか。



連絡先 西良 浩一 seikei2@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7240 fax.088-633-0178
http://www.utokushima-orthop.com/

脳神経外科

(科長 高木 康志)

脳神経外科は、common diseaseである脳血管障害、頭部外傷、脊椎脊髄疾患に加え、脳腫瘍、機能的疾患、小児神経疾患など様々な疾患を対象とします。徳島大学病院では脳卒中センターを有しており、将来進む科にかかわらずすべての初期研修医が、脳卒中診察、脳血管外科手術、脳血管内治療について学ぶシステムを提供しています。また、ウエブカンファレンスシステムを用いて、関連病院間でのカンファレンスが可能で、専門知識の習得が行えます。後期研修では、脳神経外科疾患全般に対応できる能力を身に着けるだけでなく、興味を持つ専門領域の技術を獲得できるようにバックアップします。



連絡先 兼松 康久 kanematsu.yasuhisa.1@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7149(内線 3246) fax.088-632-9464
http://www.tokushima-nougeka.com/

小児科

(科長 香美 祥二)

「子どもの健康を守ることでできる小児科専門医を育成すること、更に小児科サブスペシャリティ(専門分野)を含めた診療能力の養成とキャリア形成」が小児科医局員の目標です。小児救急医療(プライマリケア)、新生児医療から専門性の高い最新の医療まで幅広い知識と診療能力を習得できるよう、新しいことに挑戦し、日々診療に研究に努力しています。我々の未来である子ども達のために、小児医療に興味がある医師の方と共に頑張っていきたいと思っています。小児科への入局を心からお待ちしています。

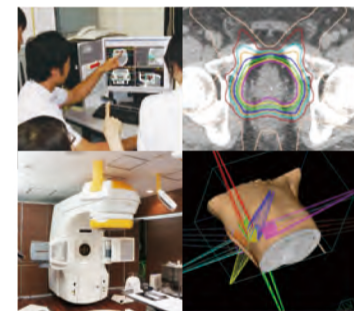


連絡先 渡辺 浩良 hwatanabe@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7135 fax.088-631-8697
http://www.tokudai-pediatrics.net/

放射線治療科

(科長 生島 仁史)

徳島大学病院放射線治療科は、3台の高精度外部放射線治療装置(リニアック)と10台の三次元放射線治療計画装置、そして前立腺癌と子宮癌に対する密封小線源治療システムを有し、1年間に700人以上の新規患者を受け入れている国内でも有数の放射線治療施設です。粒子線治療を除くすべての放射線治療の研修が可能であり、多くの診療科と連携し集学的がん治療を実践する中で、最新放射線治療技術を習得したがんプロフェッショナルを育成しています。



連絡先 川中 崇 kawanaka@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7173 fax.088-633-7468
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=26

病理部

(部長 上原 久典)

病理部は、病理組織診断・細胞診を行うことにより、院内で実施される医療行為にevidenceを与える仕事を担っています。全国的に病理専門医数は絶対的に不足しています。医療界全体が病理医の育成、獲得に必死になる時代が到来しています。研修にあたっては、各人の事情(婚姻、子供の有無、勤務時間等)を考慮し、弾力的に対応します。病理診断に興味のある研修医を心からお待ちしています。



連絡先 上原 久典 uehara.h@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7454 fax.088-633-9565
https://macro396.wixsite.com/tuhdp